

【愛知県立大学、ワンアジア財団助成講座、シラバス案】

平成27年度(2015年度)

※ 外部講師の都合等により、各授業の順番交代の可能性もあり得る。

第1回(4月13日)

・鈴木隆(愛知県立大学外国語学部准教授)

「イントロダクションーアジアと日本」

第2回(4月20日)

・上川通夫(愛知県立大学日本文化学部教授)

「日本中世と仏教世界からアジア共同体を考える」

第3回(4月27日)

・黄東蘭(愛知県立大学外国語学部教授)

「アジアの相互認識・共生からアジア共同体へー歴史教科書の視点から」

第4回(5月11日)

・工藤貴正(愛知県立大学外国語学部教授)

「民族的アイデンティティとアジア共同体ー越境する漢民族アイデンティティにみる文化・政治・国家」

第5回(5月18日)

・徐鼎昌(台北駐日経済文化代表処、講師は他の代表処幹部への交代可能性あり)

「アジアの多国間外交・地域協力とアジア共同体」

第6回(5月25日)

・樋泉克夫(愛知大学現代中国学部教授)

「ASEANの軌跡から考えるアジア共同体ー統合への道と問題点」

第7回(6月1日)

・半谷史郎(愛知県立大学外国語学部准教授)

「ロシアのアジア観と日本観からみたアジア共同体」

第8回(6月8日)

・草野昭一(愛知県立大学外国語学部教授)

「日本の対アジア・太平洋戦略とアジア共同体」

第9回(6月15日)

・諏訪一幸(静岡県立大学国際関係学部教授)

「中国の周辺諸国交とアジア共同体」

第10回(6月22日)

・福田保(東洋英和女学院大学国際社会学部専任講師)

「安全保障協力からみたアジア共同体」

第11回(6月29日)

・大島一二(桃山学院大学経済学部教授)

「アジアにおける食料貿易とアジア共同体」

第12回(7月6日)

・西野真由(愛知県立大学外国語学部准教授)

「食の国際化からみたアジア共同体—アジアの中の<和食>」

第13回(7月13日)

・朴煥善(駐名古屋大韓民国総領事、講師は他の領事館幹部への交代可能性あり)

「(仮) (国交正常化50周年を迎えた) 未来韓日関係と青年の役割」

第14回(7月20日)

・佐藤洋治(ワンアジア財団理事長)

「(仮) アジア共同体の創成をめざして」

第15回(7月27日、名古屋市内で当該週の週末に特別開催)

・公開シンポジウム「中国・韓国・北朝鮮とどう付き合うか?—21世紀のアジアと日本、愛知を考える」

パネリスト(日本人研究者と実務家、計6~7名を招請予定)

※ 7月中に、別途、公開シンポジウムを開催予定

・「日本の文化力とアジア報道を考える—メディアとアジア共同体」

パネリスト(日本と韓国のメディア関係者を3~4名招請予定、別添参照)